

令和元年度 開講認定済 免許更新講習 受講科目一覧  
開講時間数各講座とも6時間 各講座受講料6,000円 受講申込期間6月17日～

講習番号	講習の期間	区分	講習の名称	講習の概要	担当講師	受講人数
(1)	令和元年8月19日(月)	【選択】	子どもの発達障がいの理解と支援	保育現場では、発達に障がいを持つ子どもやその周辺の子どものかわりに困ることが多いと思います。入園直後や行事の時、就学前などさらに不安定な行動が見られるのではないのでしょうか。ここではまず発達障がいを持つ子どもへの関りをどうするればいいのか、さらに保護者をどのように理解し、支援していくことができるのかについて、皆さんと一緒に考えていきたいと思います。	山下 直樹 (名古屋短期大学保育科 准教授)	80人
(2)	令和元年8月19日(月)	【選択】	食育	調理実習や食物実験を通し、食に関する基礎知識や技能、食育活動において配慮すべき事項を実践的に学習する。また、それぞれが行っている食育活動について討論し、これからの日本における食育の持つ可能性について追及する。なおこの講習は幼稚園における食育活動をメインとした内容で、栄養教諭は対象としない。	辻岡 和代 (桜花学園大学保育学部 教授)	50人
(3)	令和元年8月20日(火)	【必修】	教育の最新事情	幼児期の教育を主たる対象として、①教育専門職に求められる課題、②教育政策の動向と課題、③子どもの変化をふまえた発達や支援の課題、④子どもの生活の変化をふまえた課題の4項目を主に検討し、教育の最新事情と今日的な課題についての理解を深めることを目指す。	金子 晃之 (桜花学園大学保育学部 教授) 勝浦 眞仁 (桜花学園大学保育学部 准教授)	150人
(4)	令和元年8月21日(水)	【選択必修】	保護者支援-保護者との協力関係をめざして-	急速に時代が変化していくなかで、子どもの健全育成に対して、保護者と教員との間に構築されるべき協力関係が築きにくい時代になっている。本講習では、教員自身の努力や工夫をふりかえりながら、保護者と協力関係を結ぶための保護者支援について考えていく。	小嶋 玲子 (桜花学園大学保育学部 教授)	150人
(5)	令和元年8月21日(水)	【選択必修】	幼小接続を見据えた幼稚園教諭のあり方	幼児期の教育を主に、幼稚園から小学校教育へのスムーズな接続の取り組みを幼児期から児童期にかけての教育のつながりを考えながら理解する。幼小接続の連続性を踏まえたつながりを正しく理解可能な幼稚園教諭のあるべき姿について解説する。また昨年度全面実施された幼稚園教育要領改訂との関係についても言及する。	松永 康史 (桜花学園大学保育学部 助教)	150人
(6)	令和元年8月22日(木)	【選択】	子どもの脳の発達	最近の脳科学研究の発達によって、子どもの脳の発育・発達や障害に関して新しい知見が次々に明らかになってきている。子どもの運動機能、言語、記憶など、さらには心の成長も脳機能の発達をもとに説明できる部分が多くなってきた。また、脳の構造や機能の異常が子どもの成長に重大な問題を起こすことも証明されてきた。この講義では子どもの脳の発達と脳の障害について学び、子育て、脳育ての方法論について考察することを目指す。	藤田 公和 (桜花学園大学保育学部 教授)	80人
(7)	令和元年8月22日(木)	【選択】	多様性社会における保育	様々な多様化が進む日本社会の実態、および多様化が保育現場へもたらす影響の学習を講義の主内容とする。また、多様化社会において生まれてくる保育の新たな現代的課題とそれへの対応について、諸外国の事例等も参照しながら理解を深めることを目的とする。	小柳 雅子 (名古屋短期大学保育科 助教)	80人
(8)	令和元年8月23日(金)	【選択】	子どもの造形と表現	造形表現は感覚や思考を豊かにするものだが、現代ほど創造性が求められている時代はない。身近な素材による楽しい工作演習を通じ、子どもの造形素材についての研究や正しい道具の扱い方を学ぶ。	高田 吉朗 (名古屋短期大学保育科 教授)	50人
(9)	令和元年8月23日(金)	【選択】	子どもの音楽表現	教育現場における様々な表現・音楽活動の中から、打楽器の奏法・リズム遊び・歌唱発声及びそれらを使ったアンサンブルを学ぶ。個人の音楽能力と集団での音楽能力を実践的に学ぶ。	石山 英明 (桜花学園大学保育学部 教授) 基村 昌代 (桜花学園大学保育学部 准教授)	100人
(10)	令和元年9月1日(日)	【選択】	子どもの造形と表現	造形表現は感覚や思考を豊かにするものだが、現代ほど創造性が求められている時代はない。身近な素材による楽しい工作演習を通じ、子どもの造形素材についての研究や正しい道具の扱い方を学ぶ。	浅野卓司 (桜花学園大学保育学部 教授)	50人

(11)	令和元年9月1日(日)	【選択】	子どもの音楽表現	教育現場における様々な表現・音楽活動の中から、楽譜を読むことを中心とした基礎訓練を行い、ソルフェージュを通して指導者に必要な音楽能力を学ぶ。また、教育現場における様々な表現・音楽活動の中から、リズム遊び・歌唱発声及びそれらを使ったアンサンブルを学ぶ。 総合的に個人の音楽能力と集団での音楽能力を実践的に学ぶ。	基村 昌代 (桜花学園大学保育学部 准教授) 近藤 茂之 (名古屋短期大学保育科 教授)	100人
(12)	令和元年9月15日(日)	【選択】	子どもの発達障がいの理解と支援	保育現場では、発達に障がいを持つ子どもやその周辺の子どものかわりに困ることが多いと思います。入園直後や行事の時、就学前などさらに不安定な行動が見られるのではないのでしょうか。ここではまず発達障がいを持つ子どもへの関りをどうすればいいのか、さらに保護者をどのように理解し、支援していくことができるのかについて、皆さんと一緒に考えていきたいと思います。	柏倉 秀克 (桜花学園大学保育学部 教授)	80人
(13)	令和元年9月22日(日)	【必修】	教育の最新事情	幼児期の教育を主たる対象として、①教育専門職に求められる課題、②教育政策の動向と課題、③子どもの変化をふまえた発達や支援の課題、④子どもの生活の変化をふまえた課題の4項目を主に検討し、教育の最新事情と今日的な課題についての理解を深めることを目指す。	堀 由里 (桜花学園大学保育学部 准教授) 小島千恵子 (名古屋短期大学保育科 教授)	150人
(14)	令和元年9月22日(日)	【選択】	食育	幼稚園における食育とアレルギー対応について学ぶことを目的とする。 (1)子どもと家庭の食の現状、(2)食と栄養に関する基礎知識、(3)子どもが楽しく食べるようになるための食育の知識と園での食育の進め方、(4)アレルギーの基本と幼稚園での対応などを講義で学んだ上で、「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」につながる食育の取組みをどのように実践していくのかについてグループワークを通して深める。	小川 雄二 (名古屋短期大学保育科教授)	100人
(15)	令和元年9月29日(日)	【選択】	子どもの造形と表現	造形表現は感覚や思考を豊かにするものだが、現代ほど創造性が求められている時代はない。身近な素材による楽しい工作演習を通じ、子どもの造形素材についての研究や正しい道具の扱い方を学ぶ。	田端智美 (桜花学園大学保育学部 准教授)	50人

令和元年度 開講申請中 免許更新講習 受講科目一覧  
開講時間数各講座とも6時間 各講座受講料6,000円 受講申込期間7月17日～

(16)	令和元年9月16日(月・祝)	【選択】	保育者の言葉－昔話・伝説・童話をういた指導－	本講座では教育現場での活用が期待される【昔話、伝説、童話】等を教材にして、その成立背景や児童文化財としての意義等について分かりやすく講義します。また【現職教育】の場でも活用できる【昔話、伝説、童話】等の提示及び解説も行います。	太田 昌孝 (名古屋短期大学保育科 教授)	80人
(17)	令和元年9月16日(月・祝)	【選択】	子どもの健康と運動、栄養	現代では子どもの体力や運動能力の低下について危惧されており、運動する子どもとしない子どもの二極化傾向も指摘されています。また、肥満傾向の子どもの割合も増加してきており、運動と食事のバランスを保っていくことは、過去の時代より難しくなっていると思われます。そのような中で、子どもの健康を守っていくために、楽しく安全にからだを動かすことやからだの仕組み、食べることについてを学びます。	木村 達志 (桜花学園大学保育学部 教授)	80人
(18)	令和元年9月23日(月・祝)	【選択】	多様性社会における保育	様々な多様化が進む日本社会の実態、および多様化が保育現場へもたらす影響の学習を講義の主内容とする。また、多様化社会において生まれてくる保育の新たな現代的課題とそれへの対応について、諸外国の事例も参照しながら理解を深めることも目的とする。	高橋 一郎 (桜花学園大学保育学部 教授) 小柳 雅子 (名古屋短期大学保育科 助教)	80人
(19)	令和元年9月29日(日)	【選択必修】	幼児教育・保育における指導計画作成の意義と方法	本講座では、平成29年改訂の幼稚園教育要領、及び幼保連携型認定こども園教育・保育要領において新たに設けられた「カリキュラム・マネジメント」の必要性や、全体的な計画に基づく指導計画の作成の在り方について解説する。具体的には、①教育課程や全体的な計画などの意義及び編成の方法、②園や地域の実態に即した実施・評価・改善の仕組み、③活動の充実や質の向上を目指して人的・物的資源を効果的に組み合わせる意味、④長期指導計画・短期指導計画等の具体的な作成方法と評価・改善の方向性、などについて理解を深める。(免許法施行規則第2条第1項の表備考第5号に規定するカリキュラム・マネジメント)	上村 晶 (桜花学園大学保育学部 教授)	100人

(20)	令和元年10 月13日 (日)	【選択必修】	保護者支援-保護者との 協力関係をめざして-	急速に時代が変化していくなかで、子どもの健全育成に対して、保護者と教員との間に構築されるべき協力関係が築きにくい時代になっている。本講習では、教員自身の努力や工夫をふりかえりながら、保護者と協力関係を結ぶための保護者支援について考えていく。	小嶋 玲子 (桜花学園大学保育学部 教授)	80人
(21)	令和元年10 月20日 (日)	【選択】	子どもの発達障がいの 理解と支援	保育現場では、発達に障がいを持つ子どもやその周辺の子どものかわりに困ることが多いと思います。入園直後や行事の時、就学前などさらに不安定な行動が見られるのではないのでしょうか。ここではまず発達障がいを持つ子どもへの関りをどうすればいいのか、さらに保護者をどのように理解し、支援していくことができるのかについて、皆さんと一緒に考えていきたいと思います。	山下 直樹 (名古屋短期大学保育科 准教授)	80人